都市再生整備計画 フォローアップ報告書 小諸宿周辺地区

平成26年1月

長野県小諸市

1.数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4. 都市東生整備計画に記載した日標を定量化する指標の確定

	指標:		· 従前値	目標値	事後評価			フォローアップに	計測時期	フォローアップ 時 点での達成	確定値が評価値と比較して大きな差異があ る場合や改善が見られない場合等		総合所見	
	7日 化示	単位			評価値	見込み·確定 の別	目標達成度	1年以内の 達成見込み	よる確定値	百1/织11寸4/分	度	理由	改善策の方向性	#6 □ 1/1 FC
指標1	駅·大手門周辺の歩 行者数	人/日	893	1,100	931	確定 見込み		あり なし	932	H25年9月			以晋中に補短が必安	保古園の人園者数は終年的な減少はあるものの、大手門公園せせらぎの丘開園等により 駅周辺の環境が向上し、歩行者数の増加が 見込めた。
指標2	相生町商店街と本町 通りの歩行者数	人/日	1,779	1,800	1,607	確定 見込み	×	あり なし	1,779	H25年10月			改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	相生町商店街で電線類地中化工事が施行中のため、工事完成後には安全で快適な歩行空間及び良好な都市景観が形成される。また、本町通りでは、歩車分離の交通実験を開始したことにより歩行者の増加が期待できる。
指標3						確定 見込み		あり なし		H 年月			改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	
指標4						確定 見込み		あり なし		H 年月			改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み		あり なし		H 年月			改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	
	事後評価シート 様式 2-1及び添付様式2- から転記 全ての指標について記入							フォロ	ーアップの必要	そのある指標につい	て記入	全ての指標について記入		

様式4- その他の数値指標の確定

	指 標		- 従前値	目標値	事後評価			フォローアップに	±1 Yorks±440	フォローアップ時	確定値が評価値と比較して大きな差異があ る場合や改善が見られない場合等		WACE	
		単位			評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の 達成見込み	よる確定値	計測時期	点での達成 度	理由	改善策の方向性	総合所見
その他の 数値指標1						確定 見込み				H 年月			改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	
その他の 数値指標2						確定 見込み				H 年月			改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	
その他の 数値指標3						確定 見込み				H 年月			改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	
(事後評価シート 様式 2 -1 及び添付様式 2- から転記 全ての指標について記入 フォローアップの必要のある指標について記入									く 全ての指標について記入				

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4 - 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シー	ト 添付様式5 - に記載した Dまちづくり方策(事項)	実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項	
	公園の賑わいの持続、維持管理	・大手門公園は指定管理者制度による適正な維持管理とイベントの開催、遊休施設であった本陣主屋をギャラリーとして活用。		誘客効果の継続と、観光と駅前商店街の連携による賑わいの創 出を図る必要がある。	
·成果を持続させるために 行う方策					
	ウンナないの味もの 不供		可供504年 b 11 初十五 b 彭进弘 宗 喜樂 / b b - 初		
改善策			市リノベーション事業)に着手した。	・病院を核とした魅力あるまちづくりを推進 ・地域内の公共交通の充実 ・人のぬくもりが感じられる「街なか居住」の推進	
めの改善策・残された課題・新たな課題への		低炭素まちづくり計画の策定による、市役所敷地周辺への都市機能の集約化を促進。	平成25年度より都市再生整備計画事業(地万都市リノベーション事業)に着手した。		
対応策 ・その他 必要な改善策					

事後評価シート 添付様式5 - から転記

学校町両ノ 「 /小町1水100 - /1・0年400

様式4- フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項